

## 先輩たちの過去数年間の合格手記のうちごく一部を抜粋して掲載しました。

### ぜひ参考にしてください！

#### R子 明治学院大学国際学部合格 (済美高卒現役)

私は、もともと英語が好きでしたが、より理解を深めたいという思いで入塾しました。しかし、アカデミーに入ってから、自分が単語を覚えきれていなくて、不十分であることや、速読が苦手なことに気づき、そこを重点的に詰めることができました。また、アカデミーで、様々なジャンルの長文や大学の入試問題に挑戦することで、読むスピードが速くなり、単語の定着度も実感し、どんな内容の問題も解くことができるようになりました。

そして、私は私立大学受験を希望していたので、共通テストの単語よりレベルの高い単語を覚えるために、夏休み中に基本的な1900語を覚えて、そこから専門的な単語を覚えていきました。単語は忘れてしまうものなので、繰り返して反復していました。また、要約とライティングの問題では、誰かに見てもらうことが大切です。自分の見落としがちなミスにも気付けるからです。私は先生方に見てもらうことで、苦手だったライティングもできるようになりました。ここまで英語ができるようになったのは、アカデミーのおかげです。支えて下さった先生方にとっても感謝しています。

#### S男 松山大学人文学部合格 (新田青雲高卒)

私は、元々現役大学生でした。ですが、他学部を受験することになり、その際に英語が必要になってきたため、秋からアカデミーに通い始めました。高校の頃にもお世話になっていたのも、とても通いやすかったです。私は、元々英語が得意科目でした。しかし、前の学部で、英語はあまり勉強しておらず、ブランクが大きかったので、最初は不安な気持ちでいっぱいでした。その為まずは、アカデミーで配られた単語集を毎日30個ずつ覚えていました。また、個人レッスンで文法、難関大講座、共通テスト対策講座で読解を習い、徐々に力をつけていきました。先生から「毎日英語に触れることは重要」と教わりましたが、これは本当だと思います。実際私も、過去に慢心していて成績が大幅に下がったことがあります。とにかく毎日勉強して、基礎を補いながら発展させていくことが重要だと思いました。本番1か月前から個別レッスンのみ通い、赤本を解き始めました。長文も一つ一つ丁寧に解説してくださり、文法も分からないところを潰していくことができました。本番前になると緊張感も高まってきましたが、アカデミーの先生に教わったことを思い出すと、とても心強かったです。そして、本番では、自分の精一杯の力を発揮することができました。お世話になった先生方にはとても感謝しています。大学に入学してからも、アカデミーで習ったことを忘れずに英語の勉強を頑張っていきたいです。

#### K男 愛媛大学医学部(医)合格 (済美平成高卒)

私は、中学3年生の時から英語アカデミーでお世話になりました。英語アカデミーでは共通テスト、二次試験共に対策をしっかりとってくれるので、英語が苦手な人、英語を武器にしたい人などにおすすめです。私は、共通テスト英語で190点近く取ることができましたが、100回以上演習することで、この点を取ることができたので、とにかくどんどん解いて下さい。二次試験の和訳が特に苦手だったのですが、先生による丁寧な添削のおかげで、少しずつですが、コツをつかみ、最初の頃よりも読みやすく、わかりやすい訳を作ることができました。英語アカデミーでは、自分の志望校、レベルにあった授業を受けられるので、是非、通ってみて下さい。ありがとうございました！

#### N子 岡山大学工学部合格 (松山東高卒現役)

英語に関して、共通テストでは速読、個別試験では文法が重要だと私は考えています。

私は「速読」という言葉を、高校の授業で初めて耳にしました。幼少のころから英語アカデミーに通っており、アカデミーで速読のレッスンが受けられることを知ったので、2年間ほどトレーニングを続けました。結果から言えば、wpmが120程から150程に上がり、共通テストリーディングでおおよそ9割を得点できました。共通テストに初めて挑んだ受験生の感想として、後輩たちに最も伝えたいことは、文章量がかなり多いということです。特に国語と英語では、いかに問題文を早く理解するかが得点に直結すると感じました。速読なしには、共通テストの追加要素である表やグラフを読み解く時間は、ほとんどありません。速読をするにあたって「語彙力」「テクニク」「慣れ」が必要で、後ろの2つに関して、私は英語アカデミーで大変お世話になりました。1つ目の「語彙力」は言うまでもなく、単語がどれだけ頭に入っているかということです。より多くの英単語を正しいイメージと結びつけることで、素早く読み進めることができます。2つ目の「テクニク」とはズバリ、スラッシュリーディングのことです。私は英語アカデミーでこの癖をつけたことで、日々の学習の質が上がったと確信しています。3つ目の「慣れ」は、目の動かし方やスピード感などを継続的にトレーニングすることにより身に付きました。

速読は共通テストではもちろん、個別試験で問題を解く時間を増やすためにも、大きなアドバンテージとなります。そのため、学校で速読のテキストを解くことはこれから多くなるかもしれません。しかし、周りとの差がつきやすい「テクニク」や「慣れ」は、紙のテキストでは身に付き辛いこともあります。皆さんも、早いうちからパソコンを利用した速読のトレーニングを積んでみてはいかがでしょうか。

#### K子 東海大学理学部化学科合格 (松山東雲高卒現役)

私は中学3年生の3学期からアカデミーに通い始めました。当時の私は英語が1番の苦手科目であり、中学英語の基礎もまったくできていない状態でした。これではダメだと思い、それまでの英語の復習を高校1年間でしました。やはり基礎が出来ているのといないのでは理解の度合いがまったく違っており、英語は異国語ではなくコミュニケーション手段の1つであると私の中で理解することができました。

アカデミーは英語嫌いだった私に丁寧に分かり易く英語を教えてくださいました。とくに私が受講していた個人レッスンでは、分からない私に、ゼロから英語を教えてください、英語を得意とまではいきませんが、好きにしてくださいました。

私は某大学に総合型選抜で受験をし、英語を受検で使用することはありませんでしたが、アカデミーでの勉強の経験が私を成長させてくれたと感じています。これも全て英語アカデミーのおかげです。ありがとうございました。

## K子 関西学院大学人間福祉学部合格 (松山北高卒現役)

私は高校1年生の冬から英語アカデミーに通い始めました。以前は他の塾でウェブ授業を受けていましたが、私には声に出して覚えることやクラスのみんなと高め合いながら勉強することが向いていたので移りました。とにかく1、2年生では基礎を固め2年生の終わり頃から本格的に長文問題に手をつけました。私は周りの友達よりも器用に物事を進めれないため、学校で配布された問題集やアカデミーで配られるプリントのみを懸命に解きました。試験1か月前から「関西学院の赤本」を本屋さんで購入し、その1冊をずっと解いていました。その時はアカデミーの授業を個別指導のみにし、その教材のみで授業していただきました。入塾当初はただ英語が大切だと言われたから授業に出ていました。しかし、アカデミーに行く度に会う外国人の先生や担当の先生の楽しい授業のおかげで自分の英語学習に対する意欲の向上を実感することができました。

英語は毎日触れること、声に出して読むことでのびます。アカデミーの先生に教わったこの言葉を信じてゆっくりなペースでも諦めず周りに付いて行こうと努力して本当によかったです。ただ英語を学ぶだけでなく、勉学の楽しさにも気づかせてくれるような塾に出会えたことに本当に感謝しています。

## A子 愛媛大学法文学部合格 (松山南高卒現役)

私は幼稚園から受験の最後まで受講していました。そのため英語は好きで苦手意識もほとんどありませんでした。しかし単語を覚えることが苦手な高校に入ってから長文を読むことに苦労しました。毎日の学校の授業や部活であわただしい日々で単語を覚えることは後回しにしていました。そんな時にアカデミーで使用した「速読英単語」が私の助けになりました。様々なジャンルの英文に触れることができ単語も覚えられて時間の目安が書かれてあるため、読むスピードがものすごく速くなりました。新しくなった共通テストでは、時間内に読む量がすごく増えたので、基礎的な単語の記憶はもちろん、どれだけ速く読んで内容を把握するかが鍵になると思います。勉強のやる気がでないときやすき間時間に読むだけでも大丈夫です。毎日英語に触れることが大切です。毎日読む習慣がついたので受験に近づくにつれてどんどん単語を覚えられて共通テストも二次試験も自信を持って受験できました。また様々な大学の過去問の長文を解くため、飽きることなく読むことができました。

夏には普段練習できないリスニングを受講して毎日聴く習慣をつけました。毎日英語に触れるようにしたため、読めなくなるときがなかったのととてもよかったです。こんなにも自信を持って入試に取り組めたのはアカデミーでの授業や講習があったからです。教えて下さった先生方にはすごく感謝しています。

## K子 大阪大学外国学部合格 (松山東高卒現役)

英語アカデミーへは中1から通っており、高3では難関大講座とセンター試験の模試だけ受講。アカデミーの授業は少人数で日本語訳の添削も丁寧で、外国人の先生が英作文を見てくださるのでとてもためになりました。また個人的に赤本の添削を9月頃から毎週していただいて、あまりできていない時も優しく教えてくださり、励ましてくださったのでとても心強かったです。私が問題を解くときに気を付けたことは、最初は解答を見ないことと時間を区切ること。本番の入試では電子辞書やスマホの使用はできず、答えもないので、周囲の単語から内容を類推する能力を養いました。また、阪大の外国語学部の英語は時間がかなり限られているので大問ごとに時間を測り、全て解ききることを意識しました。加えて、私は単語を覚えるのが苦手だったので「東大英単語熟語鉄壁」という単語帳を辞書代わりに使っていました。最後に、自分の志望校より1つ上の大学を目標に勉強を進めてほしいと思います。目標に近づきすぎると油断が生まれやすく当初の志望校に届かなくなります。模試で良い判定が出た時は目標を高く設定し直して追い込み続けると結果は自ずと見えてくるはずですよ。皆さんの受験が満足のいくものになることを祈っています。

## K男 広島大学教育学部英語文化系合格 (松山東高卒現役)

高校入学時は英語が苦手でしたが、英語アカデミーで基礎を積み上げ、センター対策を始めた夏頃には150点台には乗っていました。東校のグループ幹部を務めていて多忙だった僕にとって、短時間で集中して学習に取り組めるアカデミーの環境は最適でした。秋に入ると本格的にセンター対策を。センター試験で大事なのは80分で解き切るスピードと情報処理能力です。文章中のどこが答えに直結するのか、問題作成者がどう引っ掛けてこうとしているのか、これらを冷静かつ迅速に考えなくてはなりません。僕はセンター対策を受講し始めた当初、150点からもう点が伸びるわけがないと思っていましたが、本番では95%という納得のいく点を出せました。僕が合格した広島大学は要約と英作文の配点が重くかなり苦戦しましたが、最後の最後まで先生が添削して下さり自信を持って二次試験に臨めました。 難関大講座は敷居が高そうという印象があるかもしれませんがそんなことはありません。中堅大志望であっても、もっと英語を深く学びたいという意思があれば是非受けてみて下さい。必ず力になります。

## H子 愛媛大学法文学部合格 (松山南卒現役)

英語アカデミーには以前から通っていましたが、センター試験に向けて、高3の夏からセンター対策講座に参加。初めは80分という限られた時間の中で、最後まで問題を解くことができませんでしたが、大問ごとに時間を決めて解くことで徐々に慣れていきました。また、先生に頂いたセンター対策用の単語プリントや、それまでに解いた問題を何度も見直しました。英単語は意味を覚えるだけでなく、実際に声に出すことで、発音、アクセントの対策にもなりました。センター直前になると、本番同様に問題を解き時間に慣れることで、学校での模試や本番でもリラックスして解くことができました。私が無事志望校に合格できたのも、英語アカデミーの先生方のご指導のおかげです。本当にありがとうございました。

## M子 愛媛大学教育学部合格 (松山東高卒現役)

私はセンター試験の英語の得点を底上げし安定させるために、夏休みと冬休みの授業に参加。夏は文法の総復習と長文読解に力を入れた講座でそれまでおざなりになっていた弱点を徹底的に潰しました。この講座で英語をみっちり勉強したおかげで、夏休み以降の英語の受験勉強をスムーズに進めることができ、夏までにやればまだ間に合うということを実感。冬にはセンター試験追い込み講座に参加。それまでなんとなくやっていた時間配分について熟考し、冬までに覚えたことを生かしてひたすらマーク式問題を解きました。解き終わった後は先生がテンポよく解説をしてくれます。そこでまだおさえていない連語などが出てきたらその場で覚えるということを習慣づけました。夏と冬両方に共通していたことは、鍛えたという実感が十分にあるということです。加えて先生方の普段からの助言や励ましの言葉もあり、本番では全く緊張することなく自信をもって解くことができました。私は理系科目に時間を割いていたため、英語の受験勉強を周りよりも遅れてスタートしましたが、最後には予定通り8割をマークし、得点源とすることができました。

## T男 大阪大学工学部合格 (平成済美高卒現役)

英語が苦手な科目であり、夏休み前までの模試でとてもひどい点をとっていました。自分の行きたい大学に受かるためには英語は捨てることはできなかったの、英作文の力をつけようと英語アカデミーに通い始めました。英作文をメインでしようと思った理由は、阪大の二次英語ではとても差がつくところだったからという理由と、自分が英作文に特に苦手意識があったからです。英語アカデミーでの個別指導では阪大よりもレベルの高い京大の英作文を中心的に指導して頂き、はじめは手も足も出ないという感じでしたが、和文英訳の日本語の解釈の仕方など授業を重ねるにつれて、「そういう風に行けるのかー。」という感動から少しずつ英作文が楽しくなっていき、英語の中で最も得意な分野にできました。また間に英文和訳も授業に取り入れ充実した内容の授業を受けられました。秋から冬にかけてとても楽しく英語を学ぶことができました。勉強は楽しく取り組むことができました。アカデミーの授業はその楽しさを見出す手助けをしてくれるはずです。頑張ってください。

## M子 鳥取医学保健学科合格 (松山東高卒現役)

実はセンター試験で英語がものすごく悪く、二次試験勉強で英語アカデミーに非常にお世話になりました。二次試験科目は1教科。それも英語でした。鳥取大の英語は、かなりの文章量の長文2題と難関大に近い問題形式の英作文でとても不安になりました。しかし、元々センター前から二次対策をアカデミーでしてきたため長文はしやすく、英作文も最初は苦戦しましたが先生の添削や宿題のおかげで何とか形までもっていくことができました。志願者倍率は4.4倍で枠も少なく、しかも苦手意識の強かった英語試験で不安ばかりでしたが、先生たちの熱心なご指導やポジティブな言葉に本当に救われました。今があるのは間違いなくアカデミーのおかげです。

## N子 九州大学法学部 (松山東高卒現役)

英語アカデミーには小学生の頃から通い、英検の勉強などもしてきましたが、高3の6月ごろから読解記述クラスに入り、本格的に大学入試の文章と向き合うようになりました。そこで非常に役に立ったのは、先生がまとめてくださった、「速読英単語」の単語プリントです。重要なものが厳選されており、それを全て頭に入れるだけでも相当な力になります。自分がまだ覚えられていない単語に印を付け、何度も何度も見直します。私は試験直前の休み時間にもこのプリントを活用しました。

センター試験に関しては80分の中で筆記1年分を解き切るという練習も大切だと思います。特に第3問以降は1問の得点が大きいので、そこで落とすことはないように意識しました。リスニングは、私自身正直苦手と感じていました。何度やっても30点代をウロウロ。それではだめだと思ったので、毎日CDを聞き、間違った問題はスクリプトを見直し、とにかく英語を耳に慣らしました。おかげで本番では48点を取ることができました。

英作文はネイティブの先生にたくさん添削していただきました。入試の場合はたいてい減点方式なので、難しい単語などを使おうとするのではなく、簡単な英語でも正確に書くことが一番重要です。私が英語に自信が持てたのも、英語アカデミーで先生方のご指導を受けられたからです。先生方には大変感謝しています。

## I子 大阪大学外国語学部中国語専攻合格 (松山東高卒現役)

今思えば、1,2年生のときに積み上げた土台がしっかりしていたから、長文も読みやすかったのではないかなと思います。高3になり、田中先生の授業を受けるにつれてどんどん長文を読むスピードも上がり、模試を受けるたびに自分の英語の能力の向上を実感できました。アカデミー以外で特に英語を勉強することはなかったので、とにかく先生の授業を習得し単語もコツコツ覚ええました。阪大の二次では、日本語訳や英訳に苦労したのですが、私が大切にしていたことは、分からない単語に出会っても文脈から想像したり推測したりする、ということです。

私がやってよかったなと思うことが、徹底した繰り返しです。参考書や単語帳は何冊もいらなと思います。自分の決めた1冊を完璧にする方が、何冊にも手を出すよりずっと力になります。また過去問も2回解けるとより効果的だと思います。日々の積み重ねが必ず結果に繋がります。コツコツ頑張ってください！

## K男 京都大学農学部資源生物科学科合格 (新田青雲卒現役)

高2の1月に受けたセンター英語の点数は100点台。これが僕が英語アカデミーに通うきっかけとなりました。実は英語は中学1年生のときからの苦手科目で、模試で解ききることすらままならない状態であり、このまま受験生になることに不安をつのらせていた頃でした。

僕が通っていたクラスは難関読解のみであり、センター対策は中心ではありませんでしたが、マーク模試で成果が顕著に現れ始めました。というのも、入塾して気づいたことですが、勉強には一定時間集中する習慣をつけることが重要です。いくら力をつけても試験中に発揮しなければ評価されないのが受験ですから、時間を計り、緊張感を持って問題解くことが出来る塾はその点で最適です。それはマークや記述に限ったことではありません。

英語が他の教科と違うのは「理解」に比べて「慣れ」の比重が大きいことです。国語や理科はいくらやっても解き方に気づかなければできませんが、英語は違います。僕はアカデミーの先生に言われて長文を毎日読むことにしていました。

センター直前は、記述対策はアカデミーだけにして、過去問を解きまくりました。良ければ本番の自信になり、悪ければ本番への不安材料になる。そうやって自分にプレッシャーをかけるために点数にこだわるのが大切です。結果的に190点を超える点数をとることができました。

センター後の記述対策は自習で過去問を解いて分析し、アカデミーで河合塾の予想問題を先生に添削してもらって、自分で気づかないところを修正しました。特に英作文は自分で添削することは不可能です。学校では難しいと思いますが、塾では1問ごとに先生が添削して下さったので自分の弱点をすぐに見つけることができ、本番でも安心して解くことができました。

## M子 岡山大学医学部保健学科検査技術科合格(松山東高卒現役)

私はセンター対策講座を受講しました。3年の夏頃まで、塾に行っていなかったの、塾探しが大変でした。アカデミーの大学受験対策講座は数ヶ月の講座ごとに参加できるので入りやすかったです。また、少人数で対面で教えていただけることも、私がアカデミーを選んだ理由の一つです。

私は、高校3年間英語が一番苦手でした。しかし、志望校に出願するためには、8割は必要だったので、センター対策は英語を中心に頑張りました。私の意識の中では、英語はどうしても外国語のままで、単語や文法がなかなか覚えられませんでした。センター講座で何枚か英単語の表をいただき、それを何度も見て覚えたことが少しでも単語力の向上につながったと思います。英単語帳は全ての単語を見るのに思うより時間がかかりますが、一枚の表になっていることで、空いた時間により多くの単語を見ることができました。ページをめくる手間もなく、何度も見ることで自然に単語が身につきました。

センター試験は、二次試験と違い解き方を身に付けると、点数が結構上がります。英語が苦手な人でも、努力さえすれば考える以上に点をかせぐことができます。何度もセンター試験形式の問題を解くことは最初は点が出ず苦痛ですが、良い点数が続けて出るようになると本番に向けて自信がきます。実際、私は50点以上点が上がり、目標の8割に届くことができました。

オススメのセンター対策は、一度時間をじっくりかけて過去問を解いてみることです。これで9割近く取れる人は形式対策が必要です。点が出なかった人で大問ごとにバラつきがある人は、高得点のところでスピードアップを、低いところの対策をすることが大切です。点が6割くらいの方は、学校の文法対策集などをやって基礎を固めましょう。私は学校のもの合わなかったの、「ネクステージ」という参考書をやりました。問題集1冊ははかなり多く思いますが、頑張ると2ヶ月もかからずに終わることができます。自分に合った対策を見つけてください。勉強は継続することが大切ですが、あきらめないことも大切です。最後まで時間を大切に、自分の目標を目指してください。

## A子 愛媛大学医学部看護科合格 (松山南高卒現役)

長文を見るだけで逃げ出したくなるほど英語は苦手でしたが、どうにかしたい！と思い高3の夏からセンター対策を受講しました。

不安もありましたが、毎回通って文法や長文をこなしていくうちにしっかりと英語が読めるようになり、学校で行われる模試の点も驚くくらい上がりました。センター直前まで週2回のリズムを崩さず頑張ることができたので、センター当日は自信を持って臨むことができました。本番では英語に関してはもう少し取れたのに、と少し悔いがあったけれど、これまで英語はアカデミーに任せてきたおかげで、自宅では他の科目にもしっかりと取り組むことができたので、合格できたのだと思います。

私は、英語はセンター試験のみだったのですが、週2回のアカデミーと学校の授業だけで十分対策出来ました。また、単語帳はDUOを使い、繰り返し覚ええました。単語はこれ一冊と、アカデミーで配られたプリントしか使っていませんが、何回も繰り返すことで力になったし、単語がとても読みやすくなりました。

アカデミーでは本番のような雰囲気の問題を解くことができるし、おろそかにしがちなリスニングや、点の取りにくい発音アクセントまでしっかり対策できます。おかげで本番では、リスニングは自己最高点、発音アクセントは全問正解することができました。授業もわかりやすく、優しい先生方ばかりでとても通いやすかったです。初めは今から50点UPなんてあるのか・・・と思っていたけれど、本当に上げることができたと、見事志望校に合格できて、とても嬉しいです。何より、アカデミーのおかげで英語を学ぶのが好きになれたので、本当によかったです。ありがとうございました。受験生の皆さん、アカデミーの先生方や自分を信じて頑張ってください。

## M子 愛媛大学医学部医学科合格（愛光高卒現役）

私がアカデミーでセンター用と二次読解用の授業を受けていました。

センター試験の勉強において、私がアカデミーに通っていて特に良かったと思うことは非常に効率よく勉強ができたことです。私はアカデミーの週2日の授業以外で家でセンター英語の勉強は一切しませんでした。それでも受講する前は良くできて75%しかとれなかったにもかかわらず、センター本番では98%という自分でも納得のいく結果を出すことができました。センター英語の勉強はアカデミーの授業を集中して受けて、間違えたところを書き出しておいて、次の授業前の10分で見直すということをして成功したのでオススメです。

難関大学読解の授業では、先生がとても丁寧な解説をして下さり、また全文を訳して下さるので、どんなに難解なものでもわからないと思うところを残すことなく、勉強を進めることができます。また自分の志望大学に沿った学習をする上で、類題を探して下さったり、添削をして下さり、自分ひとりでは決してできない勉強をすることができるので英語の勉強の仕方についてなど、不安なことがあったらまずアカデミーの先生に相談してみるといいです。全力でサポートして下さいます。また、長文はできるだけ多くの文章を読むといいと思います。それは、読めば読むほど実力がつくし、スピードも上がるからです。

私が春から第一志望の大学に入学できるのは本当にアカデミーのおかげです。後輩の皆さんもアカデミーを信じて勉強すれば英語に関しては自分の納得する結果が得られること間違いなしです。頑張ってください！

## A子 愛媛大学医学部看護学科合格（松山南高卒現役）

高3からはアカデミーのセンター対策に参加しました。週2回授業があるのでセンター試験に慣れることができました。回数を重ねるごとに得点も上昇し、学校等の模試でも八割を超えるようになりました。でも肝心なのは本番なので、決して気を緩めずに勉強を続けていくことが大切です！！私の場合、推薦入試で合格したので二次試験は受けていませんが、推薦入試は和文と英文の小論文が一題ずつありました。英論は英語の長文読解と自分の意見を書くものでした。アカデミーの先生方のご指導のおかげで合格できたのだと思います。ありがとうございました。

## A男 香川大学医学部医学科合格（愛光高卒現役）

僕が英語アカデミーに入ったのは高3の春頃でした。きっかけは、高校の先輩がこの熟から自分と同じ志望校に合格したのを知ったことです。

医学部志望だったので、センター試験でも二次試験でも英語の高得点が必要であると考えていました。しかし、センター試験で総合で84%（自己採点）しか取る事が出来ず、特に今回のセンター試験は、これまでで最も簡単であったと言われていたので、医学部志望である自分には大きなダメージでした。結果的に、志望校を受ける事が出来ませんでした。

英語を読むためには、文構造を把握する力と語彙力の2つが大切だと思っています。いくら難しい文構造が理解できても単語が分からないと文章にはならないので両方必要です。文脈判断にも限界があります。長文の文意が大切だからといってそれを優先し、先の2つを飛ばすと大学受験では点になりません。僕の場合、文構造の演習には『英文解釈教室へ（改訂）』の英文をひたすら和訳、英単語は『ターゲット1900』の目次を利用してチェックしていました。長文に関しては、手本にある参考書に載っているものを読めるようになってから他のものに手を出えたほうがいいと思います。

英語アカデミーにいてよかったと思う事は、大学の傾向に合わせて多くの長文と英作文を提供してくれ、すべて丁寧に解説してくれたことです。大量にこなしたことで、二次試験本番前には大きな自信となっていました。二次試験への出発前日まで面倒を見てくれた田中先生と他の先生方に感謝しています。

## M男 岡山大学医学部 合格（愛光高卒現役）

英語アカデミーに通う前の僕の英語の成績は、記述模試で中の上、マーク模試で7割程度の成績でした。パツとしない成績なので医学部を受ける武器にもならず、何か良い塾はないかと探していた高3の春に英語アカデミーに出会いました。通い始めてすぐに成績が上がったわけではないのですが、夏の終わりの模試ではそれなりの偏差値がとれるようになりました。英語アカデミーの講座を受ける中で重要だと感じたことは、自分の解答をプロに見てもらうことです。自分なりの勉強で読解と英作文の問題集を使ってはいたのですが、あくまでも英語に触れることを習慣づけるためのもので、実質の二次対策は全て、アカデミーにまかせていました。僕が使っていた参考書は、単語ターゲット1900、熟語ターゲット1000、NEXTSTAGEという主に文法の問題集、そして英作文トレーニングです。どれも学校で配られたもので内容はとても基本的なものです。徐々に形態が変化していく受験に対応するためには基礎をしっかりと固める必要があるとおもっていたので、ただひたすらにこれらの参考書で基礎力の底上げをしていました。

僕はセンター試験が終わった後に私立の試験を受けに東京に行ったりしていたので、国立の二次までに十分な勉強ができませんでした。なので、できるだけ早い時期から二次対策を始めて、11月の終わりをめどに二次力を完成する勢いで勉強に励んでください。

## S子 横浜国立大学工学部 合格（松山東高卒現役）

私は高3の夏休みから、友達に勧められて英語アカデミーに通い始めました。それまでは英語が全くと言っていいほどできなくて、英語が大嫌いでした。ですが、英語アカデミーに通って、1週間もすると、以前は見るだけで嫌になっていた長文に何の抵抗も感じなくなり、少しずつ早く読めるようになりました。また、センター対策では様々な傾向の問題に触れることが出来たので本番で少し違う問題が出て、平常心で解くことができました。

英語アカデミーに通っていて良かったです。もっと早くから始めたかったです。

## M子 北九州市立大学外国語学部合格（松山北高卒現役）

私は、超長文の講座と個人レッスンを受けていました。個人レッスンではリスニングや長文、その他の私立大学の過去問などをやっていました。問題は私に合わせて選んでくださったので、私の力にあった、程のよい質と量の問題をたくさん解くことができました。

また、リスニングでは、最初にスクリプトを見ずに通して聞いて、そんな内容だったかを説明し、次に先生の説明を聞きながら区切って聞いて、スクリプトを見ながらもう一度通して聞いていきました。区切って聞くのも、私の分からないところを集中的に区切って聞いたり、何度も聞いて練習しました。それまでリスニングは一度聞いて問題を解いて終わりだったのですが、このおかげでリスニングの学習方法や聞き方がわかりました。長文講座では、いろいろな大学の超長文に触れることが出来ました。制限時間を作って一講座で2,3個解くので時間の無駄がありません訳や要訳問題や英作は丁寧に添削され、点数も出るので、自分がどの大学のレベルの問題をどのくらいできるのかがわかります。最初は超長文ですごく長いので、見るだけで嫌になりましたが、だんだん慣れて根気強くなり、長文の免疫力ができてきます。また、単語では、覚えてものを先生が消してくださるので、頑張った分だけ長さが短くなっていきます。覚えるべき単語しかない単語帳を自分で作れるのでよかったです。この2つのおかげでムラなく英語を勉強できたと思います。その後も、勉強方法を役立てることが出来ました。ありがとうございました。

## H男 早稲田大学法学部合格（松山東高卒現役）

私は英語があまり得意ではありませんでしたが、アカデミーの個別授業を受けた3年間で、語彙力や文法力を効率的に高めることが出来ました。個別授業では各自のペースに合わせて授業が進むので、学校の授業で受けた説明が分かりにくかった時や、自分の意見斗異なっていた時は遠慮なく先生に質問が出来ます。現在の自分があるのは、アカデミーのおかげであり、本当に感謝しています。

## S子 大阪市立大学法学部 合格（松山東高卒現役）

私は中学のときから英語が好きで得意でもあり、高校でも英語の力を伸ばすために、高1のころから英語アカデミーに入っていました。しかし、私が受験を本気で意識し始めたのは高3の夏休み明けです。大学受験は高3の夏休みが勝負だとよく聞けれど、正直私は夏休みは宿題をこなすのに精一杯だったように思います。運動会準備にも追われていました。でも、英語アカデミーには夏休み中にも通い続け、センター対策などを行ったおかげで、夏休み明けの最初の模試では初めて180点以上取ることができました。センター対策をすれば、必ず点は伸びると実感したことを覚えています。模試を重ねていくなかで、点数が変動するのは当たり前です。私も模試によって何十点さがったりすることがありました。その時は確かにショックを受けるけれど、くじげずに自信を持つことが大切だと思います。英語の長文は読めば読むほど読解力が身につきます。英単語は覚えれば覚えるほど得をします。覚えすぎるといことはありません。私も飽きるほどセンター対策の問題を解き続け、愛用していたDUOの単語を全て覚えきりました。試験に一番大切なのは自信だと思います。自分はこんなに頑張ってきたんだ、できることをやりきったんだという自信が持てるように頑張ってください。得私が本番でも180点以上取れたのも今まで英語アカデミーで積み重ねた自信があったおかげです。苦しいときも辛いときも、くじげず乗り越えて、自信と合格を手にすることが出来るよう祈ってます。

## R子 愛媛大学法文学部合格（松山東高卒現役）

私は中学時代英語が得意でしたが、高校に入り勉強をしなくなり、英語が苦手科目となり、いざ勉強を始めようと思っても、どこから手をつけていいのかさっぱりわかりませんでした。あわてて夏休みの後半、運動会準備が始まるまでの間ほぼ毎日英語アカデミーに通い、英語をずっとやっていた気がします。今までほとんど読めなかった長文問題も夏休み明けの模試ではある程度まで読めるようになりました。そのあともアカデミーのセンター対策を続けました。たまにこんなに問題数をこなす必要があるのか？と疑問に思ったり、旧形式の問題を解くことに関して疑問を持つこともありましたが、慣れという点で相当な問題数を解くことは無意味ではなかったと思います。また、昨年形式が変わったから今年は変わることはない和高をくくってセンター試験に臨み、形式の変更に動揺してしまいましたが、今まであれだけやってきたんだと自分に言い聞かすことができたと思います。

また直前に毎回リスニングをテスト形式で行っていたので、最後の長めの文章も聞き取ることができました。

リスニングはやればやるほど結果が出る部分だと思いますが、家で一人で聞き流してしまったり、他の事が気になったりしてなかなか練習できませんでした。やはり、リスニングはポイントをしっかりと聞き取ることが一番大切だと思います。1)と2)は問題文や絵を見てある程度流れてくる言葉が想像できることがあるし、しっかり設問を読み込むことは大切だと思います。

あと、本番で使われるイヤホンが耳のサイズにちょっとあわず、初めは違和感はなかったのですが途中でだんだん耳が痛くなってしまいました。学校などに多分あるはずなので本番前にイヤホンのサイズ確認をすることをお勧めします。

## M子 愛媛大学教育学部・学校教育教員養成課程合格（松山南卒現役）

前期試験で合格できて、今、私はうれしい気持ちでいっぱいです。こんな気持ちでいられるのも、受験勉強をがんばった自分がいたからだと思います。私は。英語を学ぶのは好きです。しかし、好きだからといって模試の結果が優れていいわけではありませんでした。いつも7割ぐらいしかとれず、「もう少し点がとりたい。」と思っていた高校3年生の秋、友達にアカデミーをすすめられました。『センター得点が180点に！！』というキャッチフレーズ。多少半信半疑でした。

それでも、ワラをもつかむおもいで受講することにしました。そんな半信半疑な気持ちで受講したアカデミーですが、今では、本当に「受講してよかった。」と思っています。受講したのは

3か月ぐらいの本当に短期間でしたが、点は確実に上がりました。センターの自己採点で9割まではいきませんでした…。もっと早い時期から始めていればよかった、と後悔しています。

アカデミーではとにかく、繰り返し勉強しました。単語や文法など、1回だけではなく何回も繰り返し学びました。なかなか覚えられないことでも繰り返しすることで自然と頭に残っていきました。また、どれくらいできか点数をかいて提出し、高得点の人はプリントされてみんなに配られるので、競争心があおられ、もっとがんばろうという気になれました。他にも、長文の読み方やセンター特有の問題に対する解き方など、アカデミーを受講しなければわからないことをたくさん教えてもらいました。下手な文章でアカデミーの良さがよくわかってもらえなかったかもしれませんが、本当にアカデミーはよかったです。私にとっていちばんよかったのは、センター慣れできたことです。何回も時間をはかって過去問題を解いたのでセンター本番では落ち着いて解くことができました。英語を解く上でいちばん大切なのはやっぱり単語力です。単語の意味さえわかっていたれば解ける問題はたくさんあります。1つでもわかる単語を増やしてほしいと思います。支離滅裂な文章でしたが、勉強するのも誰のためでもなく自分のためです。センターで少しでも点をとるには英語は欠かせません。高得点がいちばんとれる教科だと思います。自分を信じて、アカデミーの先生方を信じて最後までがんばってほしいとおもいます。

## S男 広島大学工学部合格（松山東高卒現役）

何とか広島大学に滑り込みました。実を言うと僕が英語の勉強を本当に始めたのは、三年生になってから、それも後半になってからなのです。これをお読みの皆さんはそんなことのないようにして下さい。僕も一つ心残りがあります。それは「単語力」。高校で文法は難しいものもありますが、基本的には中学校のものを完璧にしておけばある程度カバー出来るものです。中学校との決定的な違いは、単語、連語の多さです。これらのマスターなくして、高校での英語の高得点はありえません。僕にはこれが絶対的に不足しており、受験勉強によって多少なりともましになりましたが、あまり褒められたものではありません。こればかりは普段の努力が必要となるものです。なるべく早く、日ごろから単語を知り、連語を覚えていけば受験に関する苦労はぐっと減るでしょう。アカデミーの「単語クラス」を活用するのも良いと思います。とにかく、僕と同じ轍を踏まないで欲しいです。単語はセンターにつながります。センター試験は限られた時間にそれなりの量の文章を読まなければなりません。やはり練習は必須です。時間配分を明確にする必要もあります。学校の授業では80分もの時間を割けるわけがないので、アカデミーの「センター講座」は僕にとって便利でした。週二回時間を計りながら集中力を養うことも出来ました。今年はセンターの傾向が変化していたのでかなりあせりましたが、何とか7割とれたのはこれらのおかげでしょう。あと、僕の一押しは「自由英作」のコースです。英語を母国語とする外国人先生にその場で添削していただき、アドバイスをもらったり、簡単な英語で会話をしながら授業をするには画期的でとても楽しかったです。前期試験でもほぼ指定語数で書け、悔いのない文章を書く事ができました。さて現在3年生のみなさん、一年は意外と長いものです。僕のような滑り込みセーフもありえる話ですが、しっかりと計画を立てれば目標より高いところに手が届くかもしれません。幸運を祈っています。

## N子 愛大法文学部合格（松山中央高卒現役）

私は愛媛大学の法文学部の総合政策に合格しました。

使用してよかった参考書や問題集は(1)『速読英単語』、(2)アカデミーでもらった『瞬間英文法』です。英語は単語・文法・長文に分けて勉強したのですが、基本はこの2つの参考書と学校で購入した即ゼミや単語帳で十分だと思います。

私がセンターで英語の点数が8割以上とれたのは、アカデミーのセンター対策クラスのおかげです。センターでは、英語を読み取る力が必要です。この対策で、いろいろな形式の問題を解いたり、先生からアカデミーの先輩方の体験談を聞いたりしていたので、本番の英語の問題形式が変わっても解く事ができました。特に長文の問題は配点が高く、失敗することはできないので、いろいろな長文を読むことに努めました。私はセンターで数学が悪かった事が致命的でした。だから、全教科を偏りなく勉強すること、得意教科を伸ばすことが大切だと思います。英語は、勉強した分だけ結果が出る科目です。この言葉を信じて、私は高校3年間アカデミーに通い、英語が分かるようになりました。今の大学に合格できたのは、アカデミーのおかげです。ありがとうございました！

## Y男 愛大農学部生物資源学科（松山南高卒現役）

僕は英語が全然出来なくなったのでアカデミーに入りました。個別授業につづいてクラス授業を受けると自分の単語力・文法力のあまりの低さにかなりショックを受けました。でも、単語・文法ともに頑張りました。アカデミーに行つて本当によかったと思います。たぶん家で一人でやっていたら取り返しのつかないひどい状態になっていたでしょう。元々、大人数の塾で講義を受けるのが嫌で、大手の塾に行かずアカデミーを選んだのですが、講義の人数は多くもなく、少なくとも適度な人数でとても集中して取組めました。

自分は2次で英語はなく、センターまでの勝負でした。そこで少しでもいい点が取れるようにアカデミーでもらった文法のプリントやZ会の『速読英単語』をできるだけや

りました。特に『速単』は学校への通学の電車の中でなど暇な時間を見つけて読むようにしていました。もう少し早い時期に『速単』をはじめていれば...と後悔もちらほら。だから英語が苦手な人はとにかく毎日『速単』を読んでもらいたと思います。最後に受験に対するアドバイスですが、毎日英語にふれてください。毎日ふれることに意味があると思います。後輩のみなさん、一つでも多くの単語を覚えて合格を勝ち取って下さい。健闘を祈っています!!

## R子 神戸大学医学部医学科合格 (済美平成卒現役)

私は元々英語が苦手だったのですが、受験生になると苦手だからと逃げるわけにもいかず苦勞しました。そんな私でも高3になるとずっと以前から英語アカデミーで個人レッスンを受けていて、先生との授業の時間が好きだったので、英語に対して苦手意識はあっても嫌いではありませんでした。英語を学ぶ時一番必要なのが「英語嫌い」という意識をもたないことだと思います。嫌いだと思っているまま英語を勉強すると、単語帳を開いては飽きて、長文を読んでは疲れます。自分はそうでした。英語が苦手な人は、まずこの「英語嫌い」を直すことから始めるといいと思います。

さて、受験の際の勉強方法ですが、私の場合は1日に1つは必ず長文を読むようにする、ということだけでした。単語や文法はそれ単体で暗記するよりも、長文の中で流れとして理解する方が記憶に残りやすいと思います。英語は短期的に伸びる教科ではないので、一文でも良いから、毎日続けることが最も効果的でしょう。最後に、後輩のみなさん、特に英語が苦手な方々、点数が出なくても焦らずこつこつと学んでいって下さい。みなさんが自分の目標とする大学に合格できるよう祈っています。

## K子 愛知県立大学外国学部ドイツ語科合格 (松山北高校卒現役)

3年間お世話になりました。最初は一人だけの授業だったことが今ではとても懐かしく思えます。初めは英語が難しすぎて全く理解出来なかった時がありましたが、毎週熱心に教えてくださったおかげで少しずつ理解できるようになりました。気がつけばセンター試験。センター本番では、アカデミーでの練習テストの点よりずいぶん低かったのですが、自分の中では踏みとどまった方だと思います。センターの数学で失敗して、第一志望大学は受けられませんでした。今回外国学部ドイツ語科に合格しました！ここは2次での英語の割合が高く倍率も5倍と先生も心配されていましたが、今までアカデミーで2次の練習をしてきたので何となく大丈夫な気がしていました。最後の一ヶ月は1年から3年までためてきたプリントを復習し続けました。3年間でかなりの量のプリントがあり、これだけやったのだから大丈夫だと思えてきて、自信につながり、改めてたくさん知識が増えました。

大学では語学がしたいとずっと思っていたので、本当に念願が叶いよかったです。英語が好きでいられたのはアカデミーで勉強していたからだと思います！アカデミーの先生たち事務の方々もいつも明るく元気で、私を応援してくれたし話しかけてくれたりして、本当にうれしかったです。これほど居心地の良い塾はないと思います。本当にありがとうございました。

## J男 岡山大学医学部医学科合格 (松山東高校卒現役)

(1) センター試験

センター試験は、とにかくその形式に慣れることが最も重要だと僕は思います。一つ一つ問題をじっくりと吟味しては時間がなくなるので、時間配分も自分のものにしていなければ高得点は望めません。慣れていなければ二次試験よりも点の取りにくい試験だと思います。

しかし、逆に言えば慣れてしまえばとても楽になってくるのもセンター試験であると思います。僕は英語アカデミーのセンター対策を受け、ひたすらセンター形式の問題を解くことで、受講前140点台だったところを本番では180点以上を取ることが出来ました。リスニングについても同様に慣れが大切です。英語はずっと聞いていない期間が続くと、いざリスニングをしようとしてもなかなか頭に入りません。筆記、リスニングではどちらも常にふれつづけることで得点を維持、上昇させられると思います。

(2) 2次試験

2次試験は各大学によってさまざまな特色がありますが、僕の受けた大学では英作文がとても重要でした。しかし英作文は自分でかいたものを自分で採点すると、間違いを見つけ出しにくくなってしまいがちです。英語アカデミーでは、授業の中で英作文の練習があるうえに、自由英作文の宿題があります。これは英語アカデミーに提出すると外国人先生に採点していただけるというもので、大変勉強になりました。もちろん英作文以外に力を入れたい人は宿題を無理にしなくてもよく、自分に合った勉強が出来ると思います。あとはひたすら本試験と同じ形式の問題、例えば赤本とかオープン試験の過去問題を解きました。自分の受ける大学の問題形式は、慣れていれば解きやすさも格段に違うと思います。

## A子 東京医科歯科大学歯学部合格 (松山東高校現役)

私は、センターで失敗した立場なのであまり参考にならないかも知れませんが、少しでも役に立てたら嬉しいと思います。

まず、私が英語アカデミーに通ってよかったと思うことは、試験に慣れる事が出来るということです。毎日毎日、センター形式の問題を解きまくることで、本番では、ほとんど緊張しなかったです。英語に関しては(笑)。また自分の志望大学に会わせて最大限のサポートをしていただけるので、癖がある問題でも十分対応出来ます。医科歯科大も英文が1,500語と長文だったのですが、しんどいのは最初だけで、解く回数を重ねるごとに慣れました。受験は想像以上に辛い事がいっぱいあります。けれど、悩みながらも努力し続ければ、自分の思い通りにはいかないこともあると思いますが、必ずいいことがあります！そう信じて、死ぬ程勉強した思い出をぜひ作ってください。健闘を祈っています。

## A男 東京大学 文3合格 (松山東現役)

私は、英作文の添削を含む東大用の個人指導と、同じく東大向けのリスニング対策を受けました。個人指導では要訳・段落補充、文法問題、長文問題をどれも万遍なく経験できました。また加えて出題傾向やミスについての先生の的確なアドバイスを頂き、本番ではそれを思い出しながら落ち着いて問題を解き進めることができました。

また受講し始めた頃にはどうにもならないように思えた英作文も、添削を繰り返すうちに形になっていきました。やはりネイティブの先生(パーチ校長)に目を通して頂けたことが大きかったと思います。精度・スピード共に上がり、試験の際も自信を持って素早く書き上げることができました。

リスニングは回数をこなして慣れることが重要なので、たくさん問題を体験できてよかったと思います。さらに聴き方のコツを掴み、本番に活かすことができました。

入試で自分にとって武器となる教科が一つでもあるととても有利だと思います。私にとって英語がそうだと言えるようになったのは英語アカデミーのおかげです。ありがとうございました!!

## R子 奈良女子大学生生活環境学部合格 (松山南現役)

私は受験勉強を振り返って、英語に関して言うと、自分なりに頑張ってきたように思います。英語は好きだったのですが、得意というわけではありませんでした。アカデミーのセンター対策で繰り返し学習するにつれて自信を持てるようになりました。

私は9月からセンター対策講座を受講しました。単語プリントが毎回配られ、暇があれば毎日見て覚えました。先生が「これだけ覚えればセンターに十分対応出来る！」とおっしゃっていたので、「たったこれだけか。私ならやれる！」と自分に言い聞かせました。(本当は量の多さに愕然となりましたが...笑い)最初のうちはあまり覚えられず何度も嫌になりましたが、繰り返すうちに自然と頭に入ってくるようになりました。休み時間や、電車、車の中、お風呂に入りながら、さらにトイレにも単語プリントを貼り、意識して覚えるようにしました。単語を覚える事で、長文も理解しやすくなりました。「継続は力なり」です！

また今年のセンターはがらりと傾向が変わりましたが、アカデミーでは傾向が変わったりした時に備えて、近年の問題形式だけでなく様々な形式の対策をしてくださったので、「こんなにも変わったか！」と驚きましたが、焦らず問題を解く事が出来ました。

私は、点数にかなりの波がありました。センター直前の模擬テストで自分の思うような点が出ずとても不安になりました。しかし前日に、アカデミーで今までやってきた教材を机の上に積み上げ「これだけやった！大丈夫！」と自信を持ち本番に臨みました。日頃から意識をして英語に取り組む事が大事だと思います。

勉強していく中で、うまくいかない時もあると思いますが、自分を信じて乗り切ってください。そして合格を勝ち取ってください。健闘を祈ります。

## M子 山口大学農学部・獣医学科合格 (松山現役)

私は、英語は毎日触れることで抵抗のないものになると思います。中学生までは文法があやふやにしか

理解できず、このままでは高校の授業についていけないと感じていました。そこで、高校からは心を入れ換え、授業中心に英語を学習しました。まず第一に、文法は、

学校で配付された参考書「チャート式・総合英語」で次の授業の項目を読んでから予習をしました。参考書を予習のときに一通り読み、分からないときにも繰り返し読むことで、細かな留意点にも気付くことができ、文法の基本を着実におさえることができました。また、読解では、私は2年生まで全訳、3年生からは分からない箇所だけ部分訳をしました。全訳はものすごく時間がかかって大変ですが、全訳をすることで知らない単語の見落としがなく、また、文の構造を見抜いて和訳をする力がつきました。声にだして読むことも英語のリズムを感じたり、文の構造を見抜いたりする上で大切なことだと思います。ただ私は単語をしっかりと覚えることができておらず、模試の点数は不安定でした。アカデミーに来て、授業のたびに頂く英単語の量に圧倒されながらも四ヶ月かけて必死に覚え、その他にもアクセントや整序問題などのポイントを教えてもらい、演習を重ねるうちにコツをつかみました。その結果、英語が最大の得点源となり、点数も安定して180点以上が取れるようになりました。私は推薦入試の小論文で英語の論文が出題され、日本語でその論文の要約と自分の意見を書きました。田中先生に要約の方法を教えていただいたことで、他人に理解してもらえ文章が書けるようになりました。あとは論文が難しく時間との勝負だったので、試験直前まで過去に出題された論文を繰り返し読みました。文章の難しさに慣れることで本番では比較的簡単と感じました。英語は語彙力をつけることと英文を読み込むことが大切だと思います。英語が苦手で仕方がないという人は、とりえず英単語を覚えてみたり、書き込み式の文法ワークなら問題の英文を全てノートに書いたり、と簡単なことから始めると良いと思います。英語は言語なので、毎日触れていたら、英語の力が芽生えてくるはず。今後、英語が使えて損はないと思うので入試をチャンスと考えて英語を自分自身のものにして下さい。

## M子 関西学院大学・文学部合格（松山南現役）

私は高1の頃から外国語学部に興味があったため、英語アカデミーでずっと英語を勉強してきました。本格的に受験を意識して勉強し始めたのは、高3の夏休みからでした。アカデミーでの夏期講座を受講したおかげで、以前とは比べものにならないほど、文章を早く読むスピードがつかえました。そして夏休みにもう1つ力を入れたのが単語でした。以前から学校でもアカデミーでも英語は語彙力が1番大事といわれていたので、夏休みの間毎日「速読英単語」で語彙を増やす努力をしました。その結果長文も以前よりかなり読みやすくなりました。ただ、私が単語に力をいれたのは夏休み以降だったので、もっと速いうちからやっていたら、楽だったのかなと思います。また私は英語にばかり力をいれて、苦手だった国語の勉強をほとんどせずにセンターでも点を得られなかったので、英語はアカデミーを信じアカデミーに任せ、家では他の苦手科目の勉強をすることをおすすめします。ただし英単語だけは毎日少しずつでもいいので、目を通すようにして下さい。最後に試験当日は自分を信じ、強気で臨んで下さい。

## 東京大学 理2合格 F子（済美平成校現役）

高校1年の夏、大好きな英語をもっと得意教科にしたいという気持ちで私はアカデミーに入りました。学校での英語の授業には多少の余裕をもっていると思っていた私ですがアカデミーの最初の授業で、自分の単語力の無さ、読解スピードの遅さを痛感させられました。そこで私は、この2つを同時に習得しようと、Z会の「速読英単語」をはじめました。この教材を使う際に心がけたことは、書くこと、声に出して読むこと、です。英語を一文声に出して読むのは、その文の訳も声に出して読みました。難しかったり複雑な文では、訳を書くよう心がけました。訳を声に出したり書くことで、自分の訳のずれが鮮明に分かるのです。そして、その作業を繰り返し一つの長文を読み終えたら、今度はその長文を黙読でもう一通り訳してみます。その時間を先生にはかっただき、速読のトレーニングにしました。この作業を終えた後も、家などでふとした時間にもう一度英文を音読するようにしました。そうすることで、文に出てきた単語や文法が自然と身につきました。

高3では、二次対策をひたすらしました。東大は、問題形式が独特だったので、慣れも必要だと思い、先生が用意してくださる東大模試や赤本の過去問を授業でしました。また自由英作文は校長先生に添削していただくことで、ネイティブ（バーチ校長添削）の先生からみた自分の単語の使い方や文法の違いに気付くことができました。1年間で本当に多くの問題を用意してもらえたおかげで入試ではあせらず淡々と解答を進められました。

英語は、日々触れ、慣れておくことが大切です。勉強の時以外でも、テレビ、音楽などで日常に溢れる英語にぜひ興味をもつようにしてみてください。また、学習の時にはとにかく基礎を大事にして下さい。基礎ができれば驚くほどにどんな英語もできるようになります。なかなか伸びずにしんどい時もあると思いますが、最後まで自分を信じてあげて下さい。応援しています。

（個人レッスン、リスニングコース）

## 横浜市立大学国際総合科学部合格 N子（松山南高卒現役）

一・二年生のころは、学校以外ではあまり英語にふれることもなく、長文を見ても少し抵抗がありました。けど、アカデミーで英語にふれる機会が増え、苦手意識がなくなりました。英語の勉強で大切なことは、やっぱり単語力だと思います。単語力をつけるためにも、たくさん英語の問題を解き、見直しをすることが重要だと思います。特にセンター前は、とにかく問題演習をたくさんしていました。時間配分にも慣れ、本番もあまり緊張せず、落ち着いて解くことができました。

英語はやればやるだけ出来るようになると思います。早ければ早いほど力もつくと。点が伸びずに悩むこともありと思いますが、必ず伸びます。あきらめずに頑張ってください。

## 神戸大学工学部 合格 G男（松山東卒現役）

僕が英語アカデミーにはいったのは中学2年の終わり頃でした。塾は行かない主義でしたがあまりの出来の悪さの為、通うことにしました。アカデミーに入ってから徐々に英語が出来るようになりました。テストでは半分ぐらいしかできなかったのが中学卒業前の期末テストで満点をとるまでに力がつかえました。今思い付くポイントは3つです。

一つは英語をやる時間ができたことです。僕は週1で2時間のコースで決して十分な時間ではありませんでしたが、アカデミーではものすごく集中して取り組みました。先生にも質問しやすい雰囲気も時間的な事に加え自分に合っていたように思えます。

二つに、英語を好きになったことです。アカデミーに行き始めて英語が好きになりました。英語のテレビ番組を見たり（NHKは面白いしお勧め！）香取慎吾くんの「ペラペラブック」とかも覚えたりしました。遊び菜漢字で全然苦になりませんでした。私は、英語が苦手でした。

三つ目にこれは大事です。それは書いてある英語を実際に訳して書いていくことです。「長文が読める」のとは全く違います。英語は読めるのに点が取れない人はこれが不足しています。この逆の英作も非常に大切です。実はこれらはアカデミーの授業でしていた事です。受験にオススメなのはいわゆる「即ゼミ」「速単」です。この二つが完璧ならセンターと難関大以外の二次試験の英語はまず大丈夫です。あと毎日英語に触れる事が大雪です。分量的な面からも「速単」はやはりオススメです。

最後に、僕は前期阪大を落ちて後期で神戸に合格しました。僕の高校の進路課長が「後期試験までは受験」と言った事を実践して前期試験のあとすぐ後期は向けて勉強を再開したのが良かったです。絶対に最後まで闘い抜く事を忘れないで下さい。英語アカデミーには本当に感謝しています。いままで本当にありがとうございました。神戸で頑張ります！

（通常コース／夏期講習／センター対策、難関読解受講）

## 京都大学工学部合格 C男（松山東卒現役）

僕は弓道で秋季国体に出場したため、本格的に受験勉強を始めたのは、国体が終わった11月。センターまでに残された時間はわずか3ヶ月でした。フルマラソンで例えれば1時間の差をつけた状態でスタートしようなものです。しかし、受験勉強はマラソンとは違います。勉強の方法・効率によってはこれだけ引き離されていても追いつくことは可能だと思います。もちろん、早く始めるのに越したことはありませんが、僕の勉強方法が何かの参考になれば幸いです。

思えば、僕が3ヶ月で巻き返して成功したのもそれ以前の土台があつてのことだと思います。僕は10年余り英会話を続けてきたのですが、ネイティブの英語になれていたことが幸いしてセンター、2次試験とも学習がはかどりました。2次試験では英語的なセンスや文化知識が重要になってきますし、2006年からはセンター試験でリスニングが行われるようになります。高校生クラスだけでなく、一般の英会話クラスも並行して受講するのがオススメ。

センター対策は「速読英単語（中級編・上級編）」と、アカデミーのセンター対策講座で単語・語法を押さえました。語法をマスターすれば180点は十分に狙えます。

2次試験は大学ごとに一応の傾向があるようですが、必ずそうなるとは限りません。現に、今回の2次試験は多くの大学で何かしらの変更がなされているようで、京都大学も出題形式の変更された問題がありました。アカデミーの2次対策講座では志望大学の傾向に囚われず、いろいろな形式の問題をこなせるように学習するので、出題形式が変更されても自信を持って対応できました。

また、2次対策で役に立つのが英会話と英字新聞。英会話で英語と日本語における表現の違いなどを身をもって学ぶことは、難解な文の和訳や英作文に対して有効です。また、英字新聞を読むことで、こなれた日本語とその英訳、あるいは逆に英文読解のコツなどを学ぶことができ、これは下手な参考書より数倍役に立ちます。時事問題な

ら前知識があるので意外と簡単に理解できるものなのです。

最後に、もっとも大事なのは「無理をしないこと」と「集中力」。「四当五落（睡眠時間が5時間だと落ちて、4時間に削れば合格する）」なんて言葉がありますが、これは全くの出鱈目。自分にあったやり方で集中して勉強すれば、少ない時間でも多くのことを学ぶことができます。身体を壊しては意味がありませんね。

受験生だけでなく、1年生、2年生も、将来を見据えて自分の夢に向かって今できることを頑張ってください！

（夏期講習／センター対策、難関読解受講）

## お茶の水女子大学文教育学部学科合格 A子（松山東卒現役）

私は英語が大の苦手でした。今もすごく得意とは言えません。しかし苦手意識はなくなりました。これは英語アカデミーのおかげです。

私は3年の夏から英語アカデミーに通い始めました。夏に10日ほど集中して単語を覚える講座がありました。自分が覚えた単語は、次の日には先生が消して下さっていて、覚えていない単語だけを集中して覚えることができました。この時覚えた単語は、センターや私大、国立の2次試験まで繰り返し覚えました。単語集もいろいろ買いましたが、結局使っていたのはアカデミーでもらった単語の紙です。あの紙の「5」まで覚えたら、センターは十分だと思うし、「10」まで覚えたら私大にも対応できます。後は忘れてしまわないように何度も反復して覚えることが大切だと思います。

3年間、勉強をまじめにしてきたわけではないので、えらそうなことは言えないけれど、無理だと思っても受けてみるという姿勢が大切だと思います。私は全部そんな感じで受けました。最後まであきらめないことが大事です。英語アカデミーを信じて、最後まで粘り抜いて下さい。

最後になりましたが、T先生、A先生、お世話になりました。ありがとうございました。

（夏期講習／センター対策、難関読解受講）

## 愛大法文学部・総合政策学科合格 E子（松山南卒現役）

私の場合、もともと英語が大の苦手だったので、語い力をつけることから始めました。まずは、「速読英単語」をしっかり覚えめました。この本は実際出る単語を中心にまとめているので、語い力をすぐつけたいならおすすめです。語い力がついた後は、アカデミーのセンター対策授業をベースにセンター対策をしていきました。授業中に集中するのも大切ですが、復習も大切です。私はその日中になるべく復習するようにしていました。このおかげで、対外模試などの点数も以前では考えられないほどのよい点数になっていました。

マーク式についてですが、私には記述式より向いていたようで、独特の傾向にもすぐ慣れました。ただ、私は文法が苦手だったので、文法の教材プリントを何回も解いていました。厚い参考書や問題集を買うより、アカデミーのコンパクトにまとめているプリントの方が効率も良く、いいと思います。

長文はとにかくたくさん読むことが必要です。ここでは速読が役に立ちました。試験は時間との勝負なので、少しでも速く正確に読めた人の勝ちです。私は1日1題以上読むことを目標にやっていました。時には学校、宿題、塾で3日で10題以上の長文を読んだこともありましたが、それによって力が付いたと感じました。

2次対策ですが、私はセンター後に学部・学科を変更したので、急に英語が必要になりました。センター対策のおかげで、英語への苦手意識はほとんどなくなっており、以前は手も出せなかった赤本を解くことを中心に勉強していました。また、英作文というセンターではなかった分野があったのですが、なるべく多くの問題を解くようにして先生に添削してもらいました。また、愛大の2次（どこでもそうかもしれませんが）は長文が多く、知らない単語が出てくることも多かったので、センターで利用した「速読英単語」の初級編だけではなく上級編も利用して、一語でも語い力を増やすようにしていました。とにかく、単語を知らないと言文も読めないし、英作文も書けないので、語い力は重要です。

私はこの受験を通じて、英語のおもしろさというか良さに気がきました。自分でもここまでよい結果が出てびっくりしています。ですから、英語が苦手だと思っている人は、やる気と根気があれば大丈夫です。ただ、すぐ結果が出ることもないので、すぐに勉強を始めて下さい。それぞれ事情はあると思いますが、始めた時期が早ければ早いほど力を高めることができます。皆さんの健闘を祈っています。（夏期講習／センター対策、難関読解受講）

## 産業医科大学(医学部医)合格 D子（松山東卒現役）

1. アカデミーだから学べたこと

高3の春休み、初めてアカデミーの短期コースを受けました。たったの5日間でしたが、効果は歴然で、苦手だった長文読解がウソのようにすらすらと理解できるようになりました。単語力が一気にUPしたこと、速読のコツを教わり、毎日長文を何題も読みこなしたことの成果だと思います。でも1番の理由は、T先生の授業を受けられたこと。先生のお人柄と丁寧で分かりやすい授業にひかれ、合格を勝ち得るまでアカデミーでお世話になりました。

2. お勧めの本

私がお世話になってきた本は、学校やアカデミーで使っていた本ばかりです。英語のプロの人達が選ぶ本なのだから、確かにいい本ばかりでした。あれこれと自分で悩んで、いろいろな問題集や参考書を買うより、先生方が選んだ本をしっかりとこなせば、力は充分つくと思います。

英語において一番の基礎であり重要なのは、やはり単語だと思います。数ある単語集の中でもZ会の「速読英単語必修編」はエッセイ付きだから長文読解もできておすすめです。私は上級編も使いました。覚えた単語が250、500と増えるにつれて、長文がどんどん読めるようになっていくのは、うれしいことです。単語は少しずつ覚えるのではなく、長期の休みを利用して短期間で一気に覚える方が私には合っていました。アカデミーでもこの本を使っていて、先生が作ってくださった単語の一覧表はとも役に立ちました。

問題集は、進研の「センター試験重要問題集」がおすすめです。長期休み前に学校で配られると思うので、ぜひきちんと解いてもらいたいです。文法や整序問題など単献ごとに分かれているので、計画的に勉強しやすいです。また、問題集は解きっぱなしにせず、知らなかったことやよくするミスを書き込み、大事な成句をチェックするなどしておけば、自分に必要なことだけが書かれたオリジナルの一冊になるので、テスト前に重宝します。

それから、辞書も役立つ教材になります。単語の意味以外の知識も増えます。例えば、respectという単語を引くと、look up to が同じ意味で、反義語がdespise だと分かります。さらに見ていくと、respectful が形容詞で、respective は「それぞれの」という別の意味であることもわかります。こうやって関連づけて覚えると頭の中で整理しやすいし、これらをマーカーでチェックしておけば次に引いたときは一目で分かります。こういったことを普段の予習に採り入れることも、受験勉強の一つになると思います。

受験生の皆さん、周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、最後まで自分を信じて頑張ってくださいね。

（夏期講習／センター対策、難関読解受講）

## 東京外国語大学外国語学部合格 H子（松山東卒現役）

私は今、大学入試というものを終えて、これを書いているわけですが、今から思えば入試前のあの不安と緊張がうそのように思えます。これを読んでいる皆さんも多かれ少なかれプレッシャーと戦わなければなりません。しかし、負けずに一生懸命勉強し目標を達成してください。そこで少しでも皆さんの足しになればと思い、私の勉強法を紹介したいと思います。

まず、単語は『速読英単語』必修、上級編だけで十分だと思います。この2冊を何度も繰り返し覚えるのがいいです。学校でも何冊か単語帳は配られましたが、私はひたすらこの2冊を覚えました。長文対策としては、時間を決めて、速読を心がけることが大事だと思います。そして、毎日読むことが必要

ければ、英語力は落ちます。もちろん、センター対策も忘れないでください。センターには、語句整序や文整序という独特の問題が含まれています。苦手分野は市販の

のがよいと思います。どんなに英語力のある人でもセンター対策を怠ることは許されません。2次対策としては、東京外大に関するれば、超長文ですので、赤本などでしっかり文に慣れることが大事だと思います。細部にこだわらず

よいと思います。リスニングはアカデミーに特にお世話になりました。実際の過去問にあたりたり、他大学の問題にも挑戦したりして実践的

家ではNHKのラジオを聞くのもよいと思います。リスニングも長文と同じで毎日聴くことが大事です。覚えるくらい何回も聴くよう心がけるとよいでしょう。

私のスタイルは、問題集を買ったらその1冊をとことん活用することです。覚えるくらい何度も解き、少々不安にもなりましたが、直前期にはそのような学習は大事だと思います。私は今までの模試なども解き直しました。

皆さんに私の方法が合うかどうかは分かりませんが、早めに勉強に取りかかり自分のスタイルを見つけてがんばってください。（夏期講習／リスニング対策受講）

## 愛大法文学部・総合政策学科合格 E子（松山南卒現役）





私の場合、もともと英語が大の苦手だったので、語い力をつけることから始めました。まずは、「速読英単語」をしっかり覚えめました。この本は実際出る単語を中心にまとめているので、語い力をすぐつけたいならおすすめ。語い力がついた後は、アカデミーのセンター対策授業をベースにセンター対策をしていきました。授業中に集中するのも大切ですが、復習も大切です。私はその日中になるべく復習するようにしていました。このおかげで、対外模試などの点数も以前では考えられないほどのよい点数になっていました。

マーク式についてですが、私には記述式より向いていたようで、独特の傾向にもすぐ慣れました。ただ、私は文法が苦手だったので、文法の教材プリントを何回も解いていました。厚い参考書や問題集を買うより、アカデミーのコンパクトにまとめているプリントの方が効率も良く、いいと思います。

長文はとにかくたくさん読むことが必要です。ここでは速読が役に立ちました。試験は時間との勝負なので、少しでも速く正確に読めた人の勝ちです。私は1日1題以上読むことを目標にやっていました。時には学校、宿題、塾で3日で10題以上の長文を読んだこともありましたが、それによって力が付いたと感じました。

2次対策ですが、私はセンター後に学部・学科を変更したので、急に英語が必要になりました。センター対策のおかげで、英語への苦手意識はほとんどなくなっており、以前は手も出せなかった赤本を解くことを中心に勉強していました。また、英作文というセンターではなかった分野があったのですが、なるべく多くの問題を解くようにして先生に添削してもらいました。また、愛大の2次（どこでもそうかもしれませんが）は長文が多く、知らない単語が出てくることも多かったのですが、センターで利用した「速読英単語」の初級編だけではなく上級編も利用して、一語でも語い力を増やすようにしていました。とにかく、単語を知らないと言文も読めないし、英作文も書けないので、語い力は重要です。

私はこの受験を通じて、英語のおもしろさというか良さに気がきました。自分でもここまでよい結果が出てびっくりしています。ですから、英語が苦手だと思っている人は、やる気と根気があれば大丈夫です。ただ、すぐ結果が出ることでもないので、すぐに勉強を始めて下さい。それぞれ事情はあると思いますが、始めた時期が早ければ早いほど力を高めることができます。皆さんの健闘を祈っています。(夏期講習/センター対策、難関読解受講)

## 島根医科大学(医学部医)合格 F子 (松山東卒現役)

皆さん、こんにちは。私はこの度、島根医科大学医学部医学科に合格しました。センター試験では数学と国語で失敗し、医学部現役合格を半分あきらめかけていたのですが、二次試験で得意な英語の配点の高い大学を探し、約1カ月間必死に勉強しました。そこで私の英語の勉強法について紹介したいと思います。少しでも参考になれば幸いです。

### 1. センター対策

私がアカデミーの「センター対策」を受講して良かったと思うのは、自信がついたことです。問題量の割には短い試験時間、たまに変わる問題形式などの不安要素を全て取り除くことができ、本番では落ち着いて取り組むことができました。授業で配布される単語のプリントを繰り返しチェックし、瞬間英文法で文法事項を楽しく覚え、時間を計って本番のように問題を解けば大丈夫だと思います。

### 2. 二次試験対策

私は難関大コースを受講し、英語力に磨きをかけることができました。2次試験センターと違って専門的な単語も注釈なしでどんどん出るので、医療系、環境系といった各分野ごとの単語プリントと短文はかなり役立ちました。長文要約や英作文などは一人一人添削してくださるのでやる気も出たし、確実に力をつけることができました。また、志望校の過去問に取り組むことは、形式・傾向・難易度を知るために重要です。

### 3. 試験当日について

当日は自分が使ったノートやプリントの束を持って行き、「自分はこれだけやったんだ。」と言い聞かせましょう。最後まであきらめず、1点でも多く取りましょう。その1点で合否が決まることもあると思います。

以上ですが、私が一番大切だと思うのは、毎日英語に触れることです。すぐに勘が鈍るので本当に大切です。最後まであきらめず、自分の夢に向かって頑張ってください。

最後になりましたが、私は十年間アカデミーでお世話になり、アカデミーのおかげでずっと英語が好きだったし、得意でいられました。先生方、受付の皆さん、本当にありがとうございました。私の次の目標は英検準1級を取得することです。(通常コース/夏期講習/難関読解対策受講)

## 大阪大学理学部合格 H子 (松山東卒現役)

「英語の勉強法」これが私が最も悩んだことでした。そしてこの悩みを解決してくれたのが言うまでもなくアカデミーであり、そしてその勉強方法とは(1)英単語を覚える、

(2)毎日英語に触れる、です。なんだそんなことと思うかもしれませんが、私も1年前まではそう思った一人であり、これを実行しなかったために英語が分からない一人でした。

1 英単語を覚える。私は夏休みの間にかなり多くの時間を英単語(「速読英単語」の必修編、上級編)に費やしました。そして、自分の語彙の量に比例して英語がわかるようになっていくのを実感しました。英文は英単語の集まりです。当り前のことですが、英単語を暗記していないと、英文は他のどんな勉強をしても読むことはできません。知らない単語に出会ったときは、前後から推測するとよいと言われますが、推測できるだけの語彙力がいれには必要です。何と言っても、とにかく単語が大切だと思います。とは言うものの国立の前期試験の直前の段階で、それでも私は語彙量の少なさを指摘されていました。そこで、試験前一週間で必修編の派生語を徹底的にやりました。そしてこれはかなりの効果があったことを実感しています。

2 毎日英語に触れる。英語は数学など他の教科とは違い、一日やらなければ感が鈍ってしまいます。だから毎日英語の勉強をすることが大切だと思います。そして英単語も一度覚えても何度も見直すことが必要です。

英語というのはやればやっただけできるようになる教科だと思います。そして私にとって苦手教科であり、また足を引っばっていた英語を克服し、さらに自信を持てるようになったことが私が合格できた理由だと思っています。また、英語が分かるということはとてもうれしいことであり楽しいことであると実感しました。だから大学では英語の力をもっと伸ばしていきたいと考えています。

今思えば一年前は英語の初歩の初歩にいた私をここまで育てて下さった先生方、そしていつも励まして下さった事務の方にとっても感謝しています。そして英語が分からないという方にはアカデミーはとてもよい場所であると思います。英語が分かりたいという気持ちさえあればどんなに短期間であっても英語はできるようになると思います。

(通常コース/夏期講習/センター対策、難関大学読解コース)